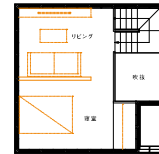


ハイクオリティ&コンパクトで 小回りのきく暮らしを提供

変化に対応し小回りのきく暮らしを求める人への
Aセグメントカーの様なハイクオリティ、コンパクト住宅。
蓄える機能を最小化し空間を人寸法に近づけ、
開口を天窓に集め壁を増す事で1/3の広さながら
3人家族が無理なく多様に暮らせる空間を1/3の費用で実現。
浮いた2/3の費用と空間が将来への変化への糧となり
暮らしの選択肢を広げる。



A-Segment House



2F various



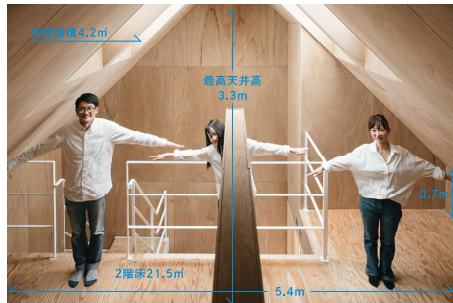
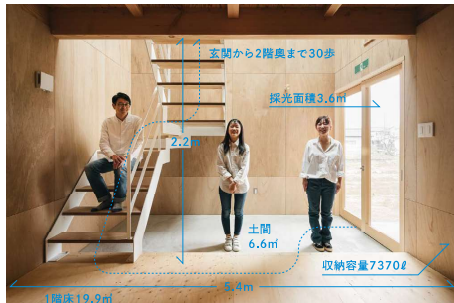
1F

窓位置すら気遣うことのない高い自由
度とストイックなまでに雨ざらしされた
ヒューマンスケールでの暮らしは、変
化に容易に対応できる心地良さを誇
つ。工房やショップ、リタイア世代や若
年夫妻の居宅、SOHO等に容易に変
化できる機動性も持ち合わせている。

木造軽骨住宅2階建て / 建築面積26.81㎡ / 延床面積51.33㎡

ほどよい大きさ

蓄える機能を最小化し空間の制約を無くすことで家族3人が動線30歩で普通にちゃんと暮らせる空間を提供。

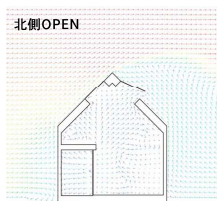


ほどよい室内環境

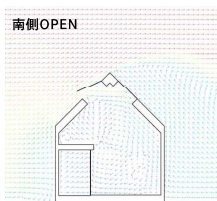
風、温度を事前に解析し天窓の位置と大きさを決定した事で良好な採光、通風が確保され次世代省エネ基準以上の温熱性能は保持

風環境

2つの方向に設えたトップライト
は、風の状況によって開け方を変え
てほどよい室内の環境をつくる。



1階をメインに2階は緩やかな通風環境
【中間期の日中など】



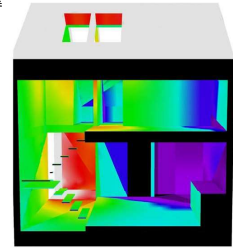
住戸全体に緩やかな通風環境を作る
【夜間や換気時など】



住戸全体に気流感を感じる環境
【夏の日中など】

光環境

冬至の朝でもトップライトからの光
が、吹抜けと吹抜けの壁の反射によ
って1階も十分な明るさを確保。



緯度35.29
8:00

【滋賀県立大学環境建築デザイン学科金子研究室】による検証